

でした。「ぐわっぐわっ」という鳴き声が途中で出てくるとぐっと聞き入るように体の動きを止めていました。本の最後の方に「じりりん」という擬音語が続くところがあります。そこでは少し体に力を入れるようにしてじっと聞いていました。繰り返し繰り返しが終わるとふっと体の力が抜けていました。優しく伸びるような言葉の面白みや繰り返しの中に不意に違った擬音語がでてくるとそれを聞いていました。語りかけのリズムの変化や語りかけの中に出てくる擬音語に興味がありました。



ほくとの
日常活動紹介
中田 亮

Cさん(横地分類A6)は写真のアルバムを開くと目を左右に動かして貼られている写真を見えています。また、人の顔が大きく写っていると顔の部分を写真の上から指で触り注目して見えています。Cさんは画面の中の色彩や形の変化に興味があるようです。挿絵の色合いや形の変化を感じられるような活動をしました。『さるとおうさま』という本の見開きのページにオレンジ色の実がついた木が大きく描かれていると動きを止めてじっと見えています。茶色い木の幹からオレンジ色の実や

葉っぱの緑色が上方向に広がって散らばるように描かれている絵のページ全体をよく見えています。ページが変わり、両ページに渡り夕暮れのような赤茶色の背景に黄色の月や青い星が描かれた絵になると目を大きくしてページ全体をじっと眺めるように動きを止めて見えました。前のページから背景の色がはっきりと変わることや、描かれている絵の色使いや構図が変わったことに面白みを感じているようでした。ページ全体に色彩が広がったり散らばったりしているような絵は特に興味があるようでじっと見えています。

Dさん(横地分類B5)は手に触れる物は回すようにして全体を触り、形や感触を感じていることがあります。柔らかい物は片手で握りつぶすように力を入れて持ち続けたり、硬い物は両手で持ったまま少し持ち上げてみたり横に置いたりしています。触ったときの形や感触の違いに興味があるようです。また叩いて音を鳴らす楽器では、手の平で叩いて音が鳴ると指先や爪で弾くようにして音を鳴らします。叩き方を変えると音が変わるので、Dさんは真剣な表情で手や指を動かし、音を



Eさん(横地分類C1)は、職員がゆっくりと絵を描いていくと少しずつ描かれていく線の細かな動きをよく見えます。また、小さなものを積み上げてくような慎重な動きなどにも興味をもって見えています。徐々に変化していく形やその先の結果に期待できるような活動をしました。アプリ『パンケーキタワー』を使って、画面の中でパンケーキを積み上げていき、次第に不安定になり揺れる動きや倒れそうに倒れない動きの面白さを感じられるようになりました。パンケーキをゆっくりと移動させながら一枚ずつ縦に積んでいくと、その動きをじっと見えています。また、パンケーキを一つ積むごとに画面から職員の指がぱっと離れると職員に視線を移したり、積み途中で「ふうー」と息をはく職員を見たりして表情を緩ませ

あおばの
日常活動紹介
鈴木 久美子

指で画用紙を挟んで折りたたんでいきました。Dさんは画用紙を押さえるようにしっかりと力を入れて折り、折った画用紙が指先に戻ってくる抵抗感を感じているようでした。